

令和3年度 太宰府市功労・善行表彰式



令和3年度の太宰府市功労・善行表彰の受賞者が決定し、11月3日(文化の日)に市役所にて表彰式を行いました。市民表彰は地域の自治・文化・スポーツなどの振興や市民生活の向上に貢献した人、善行表彰は市民の模範となるような善行があった人、市長特別表彰は学術・芸術・文化・スポーツ等の分野においてその活躍が特に著しい人を対象に行いました。受賞された皆さんは次のとおりです。(順不同)

市民表彰

◆市民功労賞

(市附属機関の委員)

おおがい ともこ
大貝 知子さん

(市附属機関の委員)

いなづみ けんじろう
稲積 謙次郎さん

◆市民活動賞

(地域安全への尽力)

なかむら あつし
中村 惇さん

たがみ あきひこ
田上 昭彦さん

たかやま しゅういち
高山 修一さん

ひまわり隊

(社会福祉への尽力)

はまだ まさこ
濱田 昌子さん

のがみ としこ
野上 敏子さん

長浦台ひまわり会

(生活環境への尽力)

しき みずこ
志岐 瑞子さん

わだ みつか
和田 光香さん

もとむら ひろし
本村 博史さん

もとむら かずこ
本村 和子さん

◆市民スポーツ賞

(スポーツ活動等の推進)

かんざき よしなお
神崎 剛直さん

善行表彰

◆ふるさと太宰府賞

(寄附)

かい よしのり
甲斐 義憲さん

公益財団法人太宰府メモリアルパーク

日之出水道機器株式会社

市長特別表彰

◆文化特別賞

いわさき きよこ
岩崎 記代子さん

◆市長特別賞

福岡県立福岡農業高等学校

学校法人筑紫台学園筑紫台高等学校

地場みやげ産業の振興 新製品の完成発表会を続々実施

「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト推進事業」では、太宰府の梅を使用した新製品の完成発表会を行いました。特に福岡農業高校の生徒たちにとって、企画から完成まで一連の活動を通して、教室だけでは学べない仕事や社会に理解を深める素晴らしい機会となりました。

今後も令和発祥の都太宰府の梅を使った新製品開発により、地場みやげ産業の振興とふるさと納税へのノミネートを行います。これにより、税収や経済効果を飛躍的に向上し、その原資を活かした梅の木の植栽などで更なる新製品開発につなげるという好循環を実現します。

○「うめんべい」発表会 10月20日(水)

(株)山口油屋福太郎と福岡農業高校・本市が共同開発した「うめんべい」は通常の味の特徴であるイカ・タコ・明太子の海鮮の旨味に加え、梅の香りとはほのかな酸味が感じられる味になっています。



○「もっちり嶺岡と梅の実ジュレ」発表会 10月29日(金)

(株)梅の花と本市が開発した「もっちり嶺岡と梅の実ジュレ」は、「太宰府別荘自然庵」限定で、七五三で賑わう11月から全メニューのデザートとして提供されており、原材料の本市産の梅の実がなくなり次第終了となります。



○梅酒「東風の梅」発表会 11月5日(金)

1673年創業の伝統ある大賀酒造(株)が本市とリニューアル製造した梅酒「東風の梅」は、3年熟成させた濃厚な梅の味わいを引き出す酒蔵秘伝の梅酒で、パッケージもさわやかな高級感を持ったデザインになっています。



○「うめのり」新作発表会および梅商品の寄贈式 11月10日(水)

(株)高橋商店と福岡農業高校・本市が共同開発した梅佃煮「うめのり」は、梅と有明海産の一番摘みの海苔を使用し、最初に梅の酸味が鼻を抜け、そのあと有明海苔の風味豊かさが口の中に広がります。



まちのトピックス

地域行事 太宰府市民ゴルフ大会開催

10月25日(月)、太宰府市民ゴルフ大会が太宰府ゴルフ倶楽部にて行われ、市内に住む20代~80代の男性女性、総勢158人が参加しました。この大会は、市民同士の交流と健康づくりを目的に開催され、今回で14回目を数えます。大会当日は天候に恵まれ、参加者は和気あいあいとゴルフを行いました。

上位の成績を修めた参加者は同月30日(土)、太宰府館で表彰を受けました。

表彰式の様子、左から大町泰浩さん(優勝)、泊雅士さん(2位)、大田浩二さん(3位)、不老安正大会長▶



地域行事 太宰府市戦没者慰霊祭が行われました

10月10日(日)、プラム・カルコア太宰府で戦没者を悼む令和3年度太宰府市戦没者慰霊祭が、太宰府市遺族連合会によって行われました。本年度で戦後76年目を迎えましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために規模を縮小して開催しました。

慰霊祭では参列者が献花を行い、戦争で亡くなった人々へ思いをいたし、市長をはじめとする来賓と遺族代表が追悼のことばを述べました。遺族代表による追悼のことばでは、「戦争を繰り返さないために、記憶を風化させることなく次の世代へ継承していかなければならない」と平和への誓いを新たにしました。



追悼のことばを述べる様子